

本日はご参加ありがとうございます。セミナー開始まで少々お待ちください。

設計者のための BIM図面審査対応セミナー

令和8年8月27日（木）
14:00～16:00

【ご質問について】

以下のご認識をお願いします。

・説明会中におけるZoomのQ&Aから

セクションによって最後に質疑応答の時間を設けていますので、その際に回答します。

※運営の都合上、すべての質問、セクションが対象ではございません。

タイムテーブル

14:00～ : オープニング（ICBA）

14:05～

-事例紹介①：吉川建設株式会社

-事例紹介②：大林組株式会社

15:25～

設計者がつまずきやすいポイントと
対応の考え方：ICBA

15:40～

2029年BIMデータ審査に関する紹介：国土交通省

15:50～ クロージング/アンケートご依頼

設計者のためのBIM図面審査対応セミナー

2026/8/27

一般財団法人建築行政情報センター

時間	内容	登壇者
14:00～	オープニング	
14:05-	事例紹介 ① BIM図面審査への取り組み — 地方ゼネコンにおける確認申請業務のデジタル化— 14:35～：質疑応答	吉川建設株式会社 DX推進部 部長 兼 設計部 課長 山内 昇 氏
14:45-	事例紹介 ② BIM図面審査への組織的な準備と取組 — 社内BIM基準と合意形成会議 — 15:15～：質疑応答	株式会社大林組 設計本部 建築法制部 課長 日下部 美嘉 氏
15:25	設計者がつまづきやすいポイントと対応の考え方	ICBA BIM推進課 参事 荒川 暁郎 氏
15:40-	2029年BIMデータ審査に関する紹介	国土交通省 住宅局 参事官(建築企画担当)付 建築デジタル推進官 岡野 大志
15:50-	最後に ・プロジェクトCDEご紹介 ・ポータルサイト、各種コンテンツ、問い合わせ先 ・アンケートのお願い	ICBA

ご質問については、以下をご認識ください。

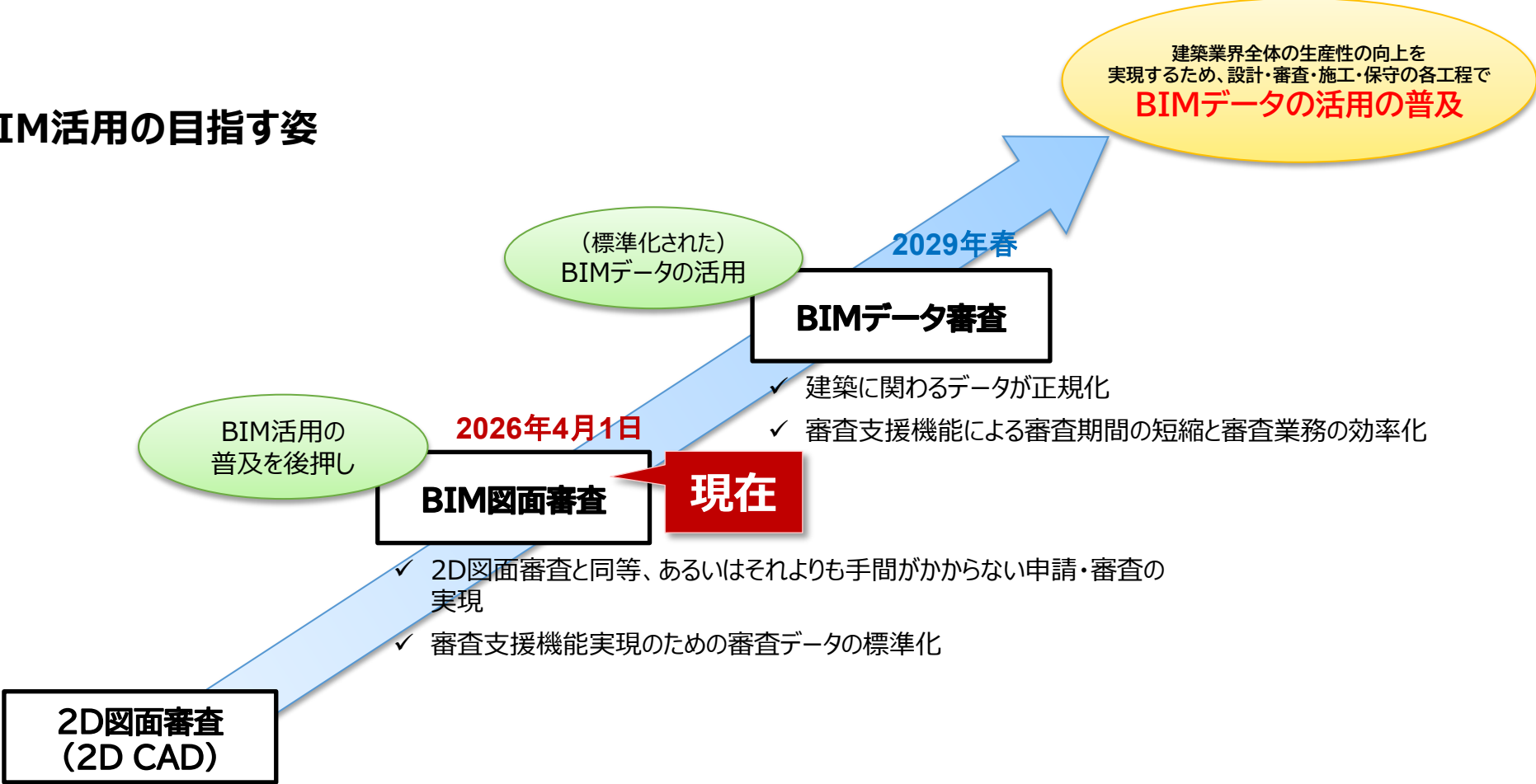
・説明会中におけるZoomのQ & Aから

セクションによって最後に質疑応答の時間を設けていますので、その際に回答します。※運営の都合上、すべての質問、セクションが対象ではございません。

建築行政におけるBIMデータ活用までのステップ

- 建築業界全体におけるデータ活用の推進に向けて、以下の3つの主要なステップを実行する。
- 第1段階では、整合性の高い申請書類を作成し、それにより審査プロセスの一部を簡略化することを目指す。
- 第2段階では、BIMデータを活用した新たな審査制度を設計し、建築確認申請の審査期間の短縮など、利用者にとっての利便性向上を図る。
- 第3段階として、収集したBIMデータを基盤に、建築業界全体の効率化および高度化を実現する。

BIM活用の目指す姿



プロジェクトCDEのご案内

プロジェクト CDE として



ArchSync は確認申請用 CDE としてだけでなく、設計プロジェクト全体の情報管理にもご活用いただけます。普段から ArchSync でデータを管理しておけば、確認申請時にも活用できます。

低コスト導入



年額 15,000 円～
必要な機能に絞ったシンプルな設計で、中小規模プロジェクトでも無理なく始められます。

CDE とは

CDE は “Common Data Environment” の略で、共通データ環境と呼びます。
プロジェクトに関する情報を一元管理し、関係者が同じデータを参照できる仕組みです。

データを登録・管理する（設計者側）

1人で使うとき

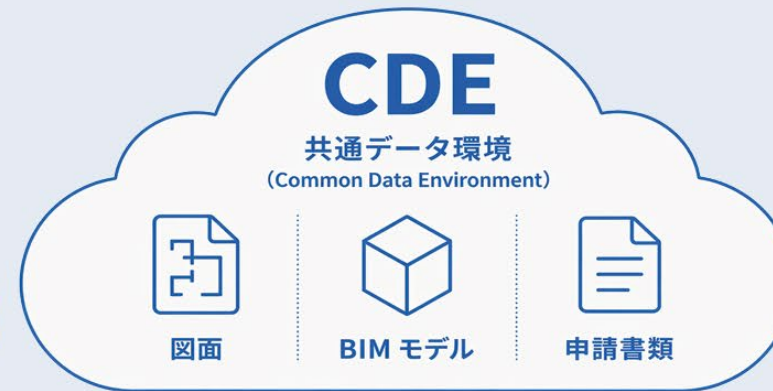


ノート PC1 台から、プロジェクトの情報を登録・管理

チームで使うとき



チーム全員が同じ環境で作業・管理。
常に最新の情報で業務を進められます



Single Source of Truth

プロジェクトの情報を一元管理
情報のズレや手戻りを削減



一元管理

プロジェクトに関するデータをまとめて管理



いつでも活用

バージョン管理と更新履歴を自動で記録



関係者との共有

必要に応じて、関係者との共有も可能です。

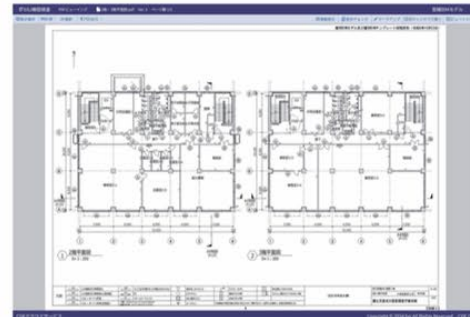
主な 3 つの特徴

確認申請用 CDE (ArchSync) と同じ操作感



申請用 CDE に近い構成で、
プロジェクトの管理・共有が可能です。
クラウドサービスのため、
環境構築・保守の手間がありません

PDF/IFC(3D) の閲覧・確認

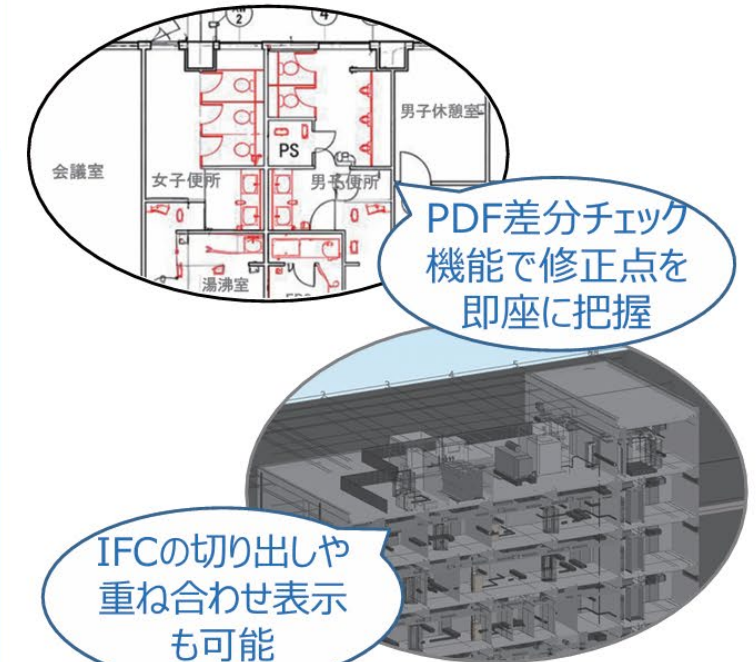


PDF の閲覧・差分確認・マークアップ



IFC モデルの表示・閲覧

コミュニケーション機能 チャット・マークアップ等



チャット機能の他、
PDF へのマークアップ等の機能

機能一覧 (ArchSyncの代表的な機能)

		主な機能	使い方
ビューイング機能	3Dモデル (IFC) ビューイング	- 断面表示機能 - モデル重ね合わせ表示機能 - ウォークスルー機能 - 計測機能	3Dモデルを自由に切り出して内部構造を把握できる - 複数モデルを重ね合わせ、干渉を確認する(主に設計時利用) - 建築物内部を人間の視点で確認できる - 任意の2点間の距離を確認できる
	2D (PDF,画像) ビューイング	- 差分チェック機能 - 計測機能	- 二つの図面の差分を確認できる(修正前後/階層別など) - 任意の2点間の距離を確認できる
コミュニケーション機能		- チャット機能 - メール機能 - PDFマークアップ・コメント機能 - 通知機能	- プロジェクト・フォルダ・ファイルそれぞれに紐づくチャットを開設できる - システムから通常業務用のメールへ連絡を送ることができる - 図面上に直接オブジェクト・コメントを書き込むことができる - ファイルのアップロードなどを相手にメールで知らせることができる
データ共有機能		- リンクファイル機能 - Anyoneユーザー機能(不特定多数へのデータDLリンク)	- 更新がリアルタイムに反映されるコピーファイルを作成でき、常に同じデータを共有することができる - 組織内外問わず広くデータを配布することができる
管理機能		- 階層構造でのデータ保管機能および権限設定機能 - ユーザーグループ機能(部署などでまとめて権限設定) - 操作LOG記録機能 - データ検索機能	- エクスプローラー感覚でデータ保管し、相手を限定して共有できる - 一度設定すれば、権限設定の度に部署名簿を確認しなくてよい - いつ・誰が・何を見たか・何を書き込んだかなど詳細記録を残せる - どこに保管したか分からないデータをキーワードで検索できる

プラン名	ストレージ容量	アカウント数	料金(年額)
プラン1	5GB	1人	15,000円
プラン2	15GB	3人	45,000円
プラン3	20GB	5人	75,000円
プラン4	50GB	10人	139,500円
プラン5	100GB	20人	279,000円
プラン6	150GB	30人	418,500円
プラン7	250GB	50人	645,000円
以降、個別にお問い合わせください https://www2.icba.or.jp/contact/index.php			

1人 = 5GBの比率でテーブルを設定していますが、各アカウントは5GBの上限に縛られることなくストレージを利用できます。
(3人プランの場合、1人で15GB使ってもよい)

- 契約期間：年間契約のみ
※月単位の契約は出来かねます
- 支払い方法：銀行振込・クレジットカード等
- 支払いタイミング：申し込み時に年額を一括支払い

※税別

推奨 利用環境

OS : Microsoft **Windows11** Ver21H2 Ver22H2 Ver23H2
PCスペック : **Windows11の推奨要件**
Webブラウザ : Google **Chrome** Ver120、Microsoft **Edge** Ver120
通信 : **インターネット**環境（**LG-WAN**だけでは利用不可）

利用条件

アカウント作成にメールアドレスが必要

→組織の共有アドレスでのアカウント作成は禁止いたしません、**1 アカウントで複数端末に同時ログインはできません。**個人単位のアドレスでのご利用を推奨いたします。

ご利用までの進め方

ご利用検討の開始

サービスの利用検討・契約プランのご検討を開始ください
<https://www.icba.or.jp/bim/procde.html>



ICBAのホームページにて利用申し込み・支払い

基本的にご契約はICBAのホームページ上の申込ページにて行います
※事前にICBAの会員登録が必要



ArchSync利用開始

お支払い後、数営業日後にArchSyncのサイトをお渡しいたします

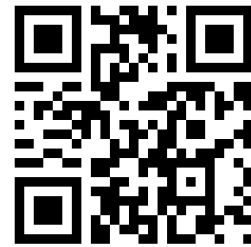
契約についてのご相談は下記よりお問い合わせ下さい。
<https://www2.icba.or.jp/contact/index.php>

ポータルサイト、各種コンテンツ、問い合わせ先

BIM審査ポータルサイトの紹介



URL :
<https://bimpermit.jp/>



掲載コンテンツ

全体向け

- 制度概要・ガイドライン等関連資料リンク
- 業務手順書・講習動画
- よくある質問

審査者向け

- 制度対応消防機関一覧

申請者向け

- 制度対応審査機関一覧
- 対応BIM・3DCADソフト一覧
※随時情報は追加予定

国交省や審査TFから発信される情報も含め、制度活用に役立つ情報を統合的に掲載するポータルサイトを運営しています。
 随時アップデートしておりますので、ブックマークの上定期的にご確認ください。

業務手順書

ICBAが標準と想定する業務手順を
役割別に解説した手順書を掲載しています。



※管理者向けの手順書はご契約時に
直接お渡ししております

- 確認検査員向け手順書
- 判定員向け手順書
- 消防機関向け手順書
- 申請者向け手順書

講習動画

左記業務手順書をベースに実施した
講習の録画を掲載しております。



- 審査機関向け講習
(確認・適判向けの内容)
- 消防機関向け講習
- 申請者向け動画

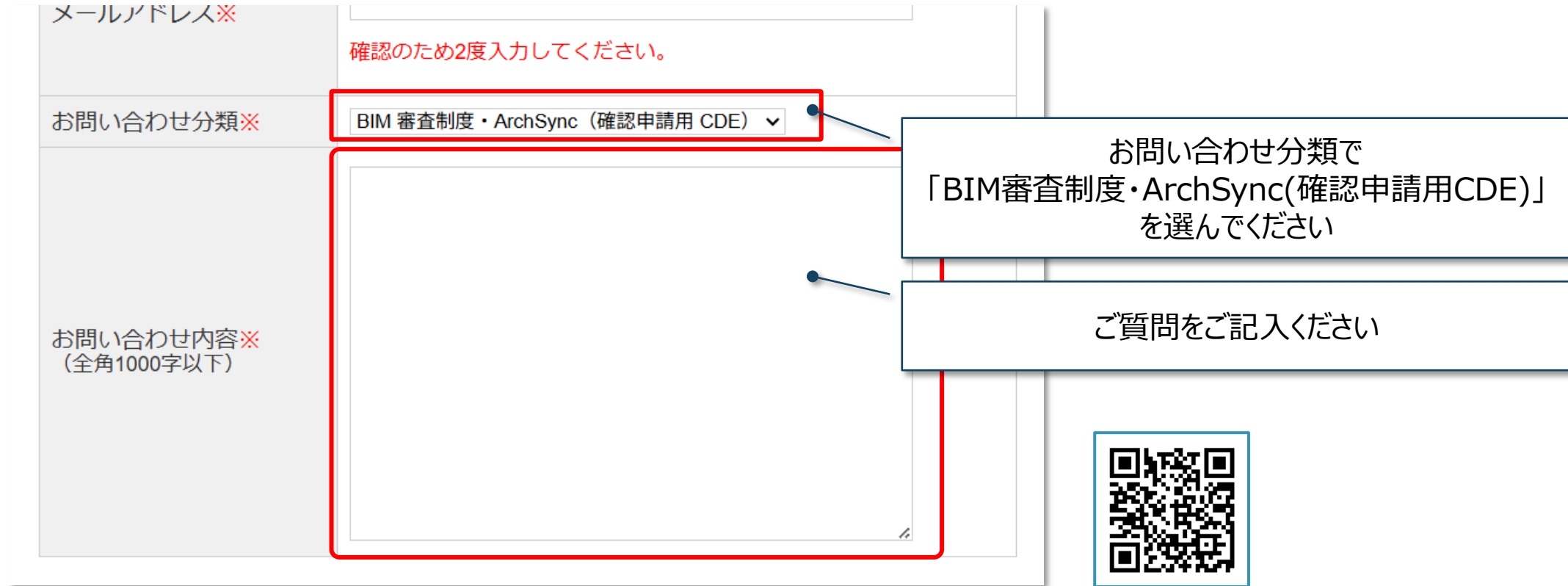
業務の学習や社内業務手順の整備、疑問が出た際に手元で参照するガイドとしてご活用ください。



制度・ArchSyncに関する問い合わせフォームをICBAにて準備しております。

本ページ下部のリンク先のページからご質問を送付ください。

※電話での受付は行っておりません



The screenshot shows a web form for inquiries. The form has three main sections: 'メールアドレス※' (Email Address), 'お問い合わせ分類※' (Inquiry Category), and 'お問い合わせ内容※ (全角1000字以下)' (Inquiry Content). The 'お問い合わせ分類※' section has a dropdown menu with the option 'BIM 審査制度・ArchSync (確認申請用 CDE)' selected. A red box highlights this dropdown and the content area below it. Two callout boxes point to these elements: one pointing to the dropdown menu with the text 'お問い合わせ分類で「BIM審査制度・ArchSync(確認申請用CDE)」を選んでください' (Please select 'BIM Review System・ArchSync (Confirmation Application CDE)' from the inquiry category), and another pointing to the content area with the text 'ご質問をご記入ください' (Please enter your question). A QR code is located at the bottom right of the form area.

※内容によっては回答に時間を要することがございます

※個別案件の審査判断に関するものなど、回答しかねる内容もございます

※申請者・消防機関の方へ：審査に関する質問は、まずは案件担当の審査機関へご相談ください

<https://www2.icba.or.jp/contact/index.php>

本日はご参加くださりありがとうございました。

ZOOMから退室後に自動でアンケートフォームが立ち上がります。

ご協力を何卒お願い申し上げます。

アーカイブ

本日の説明会終了後、以下よりアーカイブ視聴頂けます。

[BIM審査ポータルサイト - ICBA](#)

プロジェクトCDEの お見積りご依頼

お問い合わせください。

<https://www2.icba.or.jp/contact/index.php>

本説明会のアンケート (みなさま)

以下URLまたはQRコードからも回答が可能です。

<https://s.zoom.us/j/bPFbn7jWP>

